

平成24年 7月 6日  
岡山県病害虫防除所  
岡山県植物防疫協会

## 岡山県南部におけるモモハモグリガの発生状況

岡山県病害虫防除所の巡回調査（南部）におけるモモハモグリガの発生圃場率は、5月7日の42.9%（平年3.9%）（植物防疫情報第3号）以降、6月4日には32.1%（平年0.3%）まで低下しましたが、7月1日に57.1%（平年2.0%）と高まっています。発生程度は全体的には低いものの一部で高い圃場が確認されており、赤磐市のフェロモントラップにおける6月1～6半旬の誘殺数も138頭で平年（98.6頭）よりやや多くなっています。

本虫の発生が多くなると早期落葉を引き起こし、当年の果実品質の低下や翌年の生育への悪影響が懸念されるので、今後も引き続きほ場を観察して発生動向に注意し、新たな食害痕が確認された場合は速やかに防除を実施してください。

### <防除対策および防除上の参考事項>

- (1) 薬剤による防除は9月まで発生に応じて実施する。なお、使用する主な防除薬剤は下表による。
- (2) 本虫が食入して落葉した葉は次世代の発生源となるので、集めて処理する。
- (3) 農薬の使用に当たっては使用基準を厳守し、安全・適正に使用するとともに周辺農作物等へ農薬が飛散しないよう十分注意する。
- (4) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターホームページ（[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)）で確認できる。

表 モモハモグリガの主な防除薬剤（平成24年7月3日現在）

薬 剤 名	農 薬 使 用 基 準		
	濃 度 ・ 処 理 量	使 用 時 期 (収穫前日数)	使 用 回 数
アルバリン顆粒水溶剤*** スタークル顆粒水溶剤***	2,000倍	1	3
ノーモルト乳剤	1,000倍～2,000倍	1	2
フェニックスフロアブル フェニックス顆粒水和剤	4,000倍	1	2
モスピラン顆粒水溶剤*** モスピラン水溶剤***	2,000倍～4,000倍	1	3
サムコルフロアブル10	5,000倍	1	2
スピノエースフロアブル*	2,000倍～6,000倍	3	3
ディアナWDG*	5,000倍～10,000倍	1	2
アドマイヤー顆粒水和剤***	10,000倍	3	2

注 \*印及び\*\*\*印の同じ印の薬剤は同系統なので多用を避ける

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239) です。